

「Moi Moi」とはクメール語で「ひとつずつ、ゆっくりと」の意味。恵み豊かなカンボジアでのスローライフをお届けします。

遺跡修復プロフェッショナル一家



JASA石材置き場とチン・ダオイ親子
Mr. Chin Daoi and his sons

日本国政府アンコール遺跡救済チーム (JASA) の修復事業も今年で18年目となりました。事業開始当初から修復に携わっているカンボジア人作業員の中には、現在はその子供も一員であるという家族も珍しくありません。特に副棟梁のチン・ダオイ一家は、4人もの息子がJASAチームに所属し、修復職人の中でも一目置かれた存在となっています。そのような中、現在、パイオン寺院で行われている「散乱石材

の組み合わせ作業」で、ダオイ親子が大活躍していると聞き、現場を訪ねてみました。

パイオン寺院内には6万個以上の落下石材が散在しており、JASAでは、そのうち約3,000個をパイオンの南側に集め、部材ごとにグループ分けし、隣接する石材を探す作業を行っています。その作業チーム9名のうち5名がダオイ親子です。父親のチン・ダオイ氏(66歳)を筆頭に、三男ソール(38歳)、四男チュラッチ(30歳)、五男ダー(25歳)、六男ダエン(21歳)が、脈絡なく散らばる石材同士を組み合わせ、まさに立体パズルのような作業を続けているのです。わずかなレリーフ模様を手掛かりに、無数の石の塊の中から、たったひとつのピースを見つけ出す能力は、根気と忍耐力はもちろん、それまでの修復現場で培われた経験と勘があるからこそ為し得る職人技です。現場には、彫刻の連続模様がみごとに繋がった石が積み上げられ、いくつもの固まりになって置かれていました。

父親のチン・ダオイ氏は、18歳でフランスの修復チームに入り、その後、インド隊、ハンガリー隊、保存事務所などの現場で働き、石工としての腕をみがいてきました。4人の息子たちは、毎日、父親に直接指導を受け、修復技術を学んでいます。六男以外の息子たちは結婚し、独立してそれぞれ別に暮らしているのですが、日本のチームで安心して遺跡修復の仕事が続けられること、そして、毎日親子が同じ現場で顔を合わせて仕事ができることがとてもうれしい、子供や孫にも受け継がせたい、と口を揃えて話してくれました。

JASAでは、パイオン寺院南のBayon Exhibition Hutにて、修復事業の過程や研究の最新成果を展示し、当時の石積み道具などを再現して紹介しています。隣接する石材置き場では、上記のような修復職人たちの作業をリアルタイムで見することもできます。遺跡修復現場の空気を丸ごと感じてみたい方、ぜひ一度、訪ねてみてはいかがでしょうか？



筆者：小出陽子 (Yoko KOIDE) 一級建築士。
2000年、UNESCO遺跡保存オフィス建設のため、カンボジアに赴任。2005年シエムリアップにレストラン「Cafe Moi Moi」をオープンする。現在は、建築設計とレストラン経営のかたわら、JST (NGO、アンコール遺跡の保全と周辺地域の持続的発展のための人材養成支援機構) を運営し、農村地域の支援活動を行っている。

A family of professional restorers

Eighteen years have passed since the Japanese government's team for Safeguarding Angkor (JASA) began the restoration of the Angkor temples in Siem Reap. There are some families who have worked for JASA for generations. Mr. Chin Daoi, 66, the deputy chief of the stoneworkers, has four sons working for JASA. I visited the Bayon Temple where the family was working.

In the Bayon Temple, there are more than 60,000 stones scattered around. JASA members have gathered 3,000 of these stones and are trying to restore them. Among nine members of this team, five are from Mr. Daoi's family. The stones are just like pieces of a jigsaw. It takes incredible patience to fit the individual pieces together with thousands of others. It is work that also requires experience and knowledge, in addition to patience.

Mr. Daoi joined a French restoration team when he was 18 years old. He has also worked with Indian and Hungarian teams and other organizations. His four sons still learn every day from their father. Most of them are now married and live independently. They say that they also want their sons to be stone workers.